10月3日記

民主党政権になって初のG１は、（2）（5）（６）（８）がキー数字

　スプリンターズステークスというと、12月の中山が頭にすぐ浮かぶのは、年のせいだろう。かつて、スプリンターズステークスは、冬のスプリンターNo.1決定戦として有馬記念年の前に行われていた。しかし、開催プログラム改定により、2000年から、秋のG1の第1弾として、9月末から10月初めの時期に移った。
　そのせいだろうか、G1の華やかさが感じられない。夏競馬で行われてきたスプリントレースの最終戦、それがG1というだけのように思えて、私の気持ちは盛り上がらない。

　とはいえ、今年は例年と違うことが1つだけある。それは、政権交代後の初のG1ということだ。民主党政権になって初のG１。こうなると、買い目は、それにちなんだものにすべきだろう。
　では、民主党政権という最大のファクターからなにを引き出すか？　いろいろ思い浮かぶが、やはり、現在、マニュフェストが実行されるかどうかが焦点になっているので、そこにスポットを当ててみたい。

「CO2輩出量を1990年比で25％削減」という大風呂敷。思えば、これが民主党最大のハードルだ。とすれば、
（2）
と
（5）
はハズせない。

　次に、「子ども手当一人当たり月額2万6000円」という公約。ここからは、当然、
（2）
と
（６）
があぶり出される。
　さらに「八ツ場ダムの建設中止問題」も、民主党が抱えた大きな課題だ。とすれば、八ツ場の
（８）
も重要な意味を持つ。

　というわけで、結論は（2）（5）（６）（８）のキー数字の組み合わせを、馬連と枠連の両方で買う。じつに、簡単。こんな簡単でわかりやすい買い方は、近年ないことだ。

　では、いちおう馬名を書いておこう。

2番　アルティマトゥーレ 牝5 55.0kg松岡正海 奥平雅士
5番　マルカフェニックス 牡5 57.0kg福永祐一 松永昌博
6番　グランプリエンゼル 牝3 53.0kg熊沢重文 矢作芳人
8番　アイルラヴァゲイン 牡7 57.0kg津村明秀 手塚貴久

　枠番も書いておく。

2ー3番　　トレノジュビリー　　牡6 57.0kg岩田康誠 藤原英昭
　　2ー4 番　　キンシャサノキセキ 牡6 57.0kg三浦皇成

堀宣行

5ー9 番	ビービーガルダン	牡5	57.0kg	安藤勝己	領家政蔵
5ー10 番	ソルジャーズソング	牡7	57.0kg	内田博幸	鮫島一歩
6ー11 番	プレミアムボックス	牡6	57.0kg	鮫島良太	上原博之
6ー12 番	カノヤザクラ	牝5	55.0kg	小牧太	橋口弘次郎
8ー15 番	アーバニティ	牡5	57.0kg	横山典弘	古賀慎明
8ー16 番	アポロドルチェ	牡4	57.0kg	勝浦正樹	堀井雅広